



スタイルのある
家づくり

徳島市

秋田邸

新築

黒いガルバに赤い杉板、薪ストーブの煙突が
住まう人の暮らし感を伝えてたたずまう家

家の中心であり、家中をつなぐ、吹き抜けのリビングルームは、
陽射しも風もたっぷり行き交う空間。薪ストーブに揺れる火が、
時間や家族の心をつなぎます。



たっぷりのサービスヤードには、薪置き場、ガレージ、物置、洗濯物干場、犬小屋も。



赤いドアの両サイドにガラス使いた玄関。右手はざらり壁面収納、左が下駄箱。



黒いガルバリウムに赤い塗装の杉板が映えるシンプルで美しい外観。潮風に強くメンテナンスフリーであること、ローコストであること。さらに美しいことの3点を考慮してこの姿になりました。

■ 矩形平面総2階建て ■ ノンデザインというデザイン

海

からの風が吹く町の鎮守の森のすぐそばに、秋田邸は建っています。潮風を意識して選ばれた外壁は黒いガルバリウム鋼板。四角い外観の二部に配された赤い杉板がとても美しく印象的です。建物の前面をまっすぐに延びるコンクリート平板のシンプルなアプローチ。その真ん中に、杉と打ち放しコンクリートで

構成された玄関ポーチ。ここにも赤が効果的に使われています。ウッドデッキの傍らに、ストーブの煙突が伸び、屋根には太陽光発電システムがのっかり。なんとなく、佇まいだけでスローな暮らしを彷彿とさせる秋田邸です。

赤いドアを入り、収納のたっぷり設えられた玄関から、吹き抜けのリビングへ。杉板に柿

洪塗りの床、真壁工法による柱のあらわし、梁もあらわし。塗り壁のような和紙のようなやわらかな質感の壁は、ホタテの貝殻をリサイクルした材料。珪藻土と同じように調湿性を備え、化学物質を吸着する力があるそうです。自然素材におおわれた空間、ほどよい木視率も快適さの大切な要因です。

■ 自然素材と最新設備で ■ 心地よく暮らす 便利に暮らす

秋

田邸は施主夫妻とお子さん、おばあちゃまの4人ご家族のお住まい。設計にあたってのご要望は、自然素材を生かした高気密・高断熱の家。太陽光発電システム、オール電化、エコキュートタイプ電気温水器、お風呂暖房、床暖房、キッチンには食洗器、1日クッキングヒーター

など、設備機器には最新・最先端をご希望。さらに無垢のフローリング、樹脂サッシにペアガラス、ガルバリウム鋼板の外壁、という具合に、はつきりとしたさまざまなご要望をお持ちでした。プランに関しては、たっぷり収納、大きなリビング、ロフトにウッドデッキ、など。設計士はこれらのご要

望を予算内で最大限に実現するために、矩形平面の総2階建てで坪単価を抑え、珪藻土塗りの半分の経費でできる壁材をご提案。また、無垢のフローリングには不向きな床暖房をやめ、足元から部屋中を暖める薪ストーブが提案されました。



子ども部屋は将来は仕切れるように、ふたつの入り口を確保しています。かさばらず、そして美しいロフトへの段はしごも、設計士のデザイン。ロフトの天窓から明かりがこぼれます。

吹き抜けを見下すブリッジのような廊下は、家族のスタディコーナー。手前が子ども部屋、向こうが夫妻の寝室です。



薪ストーブにくゆる火が 家族の時間を刻んでいる

お

おきな吹き抜けの空調上の問題は、いかに暖めるかということ。40畳をカバーできる大容量の薪ストーブを蓄熱性の高いコンクリートで覆うことで、火を落とし

た後も、温もりが長時間持続します。温まった空気は上昇し、ファンがよどみなく温もりを空間に行きわたらせます。そして熱交換型空調換気扇が、窓をあけることなく換気を担います。薪を確保すること、火を熾し、薪をくべ続けること…確かに手間はかかりますが、秋田家の主人は、その手間を楽しむ、火のある暮らしを選択されたのです。

オール電化の家に二カ所だけ火を灯す。ハイテクの恩恵

を享受する暮らしの中で、どこかにひとつ、不便ではあるけれど捨てがたい、手をかけるといふ魅力を残しておく。薪ストーブは秋田邸の暮らし感の象徴としてここに存在しています。

おばあちゃまの居室には、ミニキッチンも設けられ、独立性が高く保てる設計になっていますが、薪ストーブのあたたかさ、吹き抜け空間の心地よさ、に、リビングで過ごす時間が多いため、吹き抜けのリビングはまさにこの家の中心であり、すべての場とつながり、すべての場をつなぐ空間です。

リビング階段を昇れば、吹き抜けにそって延びる廊下が家族のスタディコーナーです。

夫妻の寝室と子ども部屋をつなぐブリッジのようなスペースには、吹き抜けの明るさを背に、目の高さには窓、書棚も設えられ、声も気配も家中とつながって行き交います。子どもたちが自分の部屋にこもりきつてしまわず、階下の母や祖母とやりとりしながら、ここで宿題する、そんなあたたかな光景が目につかぶようです。

薪ストーブの中にくゆる火は、静かな音を立てて、ゆっくりに確かに時を刻みます。眺めているだけでなんと穏やかな気持ちになることでしょうか。家族を慈しみ、家族で過ごす時間を愛おしむために、心を込めてつくられた家。そんな言葉がしつくりとくる秋田邸です。

当初は頭になかった薪ストーブですが、その魅力に「すっかりはまった」という秋田さん。手間ひまかけるという行為と火のくれるやすらぎを楽しんでいます。



独立性の高いキッチンには、通風も採光も確保。家事動線のよさと収納力も抜群です。



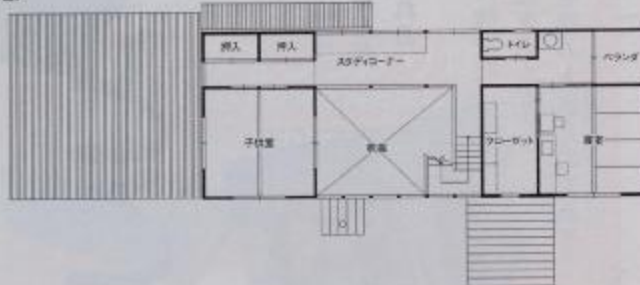
スタイルのある 家づくり 秋田邸 DATA

□家族構成	母73歳・施主38歳・妻36歳・子供(1歳)
□構造・工法	木造・在来工法
□延床面積	155.9㎡(約47.2坪)
□総工事費	約2650万円 ※新ストーブ工事、太陽光発電システム工事、ロールスクリーン、車庫・外構工事、既存建物解体工事、造園工事(未着工)除く
□スケジュール	工事着工日 2004年1月10日 上棟式 2004年3月15日 竣工式 2004年8月20日
□設計	富田建築設計室
□施工	(徳島市新浜本町2 ▲088-663-8455) アークホーム (徳島市論田町本浦下 ▲088-662-4091 http://www.archome.net)

1F



2F



夫妻の寝室と子ども部屋に設けられた屋根裏は、たっぷりの収納スペースとして活躍します。子どもたちには楽しい隠れ家にもなりそうです。太陽光発電システムのメンテナンスのために天窓付き。東側の三角窓には海の眺め。



夫妻の寝室には4畳ほどのスペースのあるクローゼットと、ロフトが設けられています。子どもが小さいうちは夫妻の寝室で畳を敷いて今は3人いっしょに休みます。

Talking

施主が語る 秋田さん夫妻

アークホームさん、富田さん、そして僕たち家族、三者がほんとうにじっくり向きあって、1点の曇りも後悔もない、すばらしい家ができました。富田さんのプロとしての提案力と、それを実現するアークホームさんの施工力のおかげで、サプライズに充ちた期待以上の家になり、感謝! 感謝! です。

プロが語る

富田真二さん(富田建築設計室)
施主が求めているものを最大限に実現するために、ノンデザインを心がけてデザインした家です。最新設備を搭載しつつ、エアコンに頼らない暮らしをご提案しました。自然素材、光、風、家族のつながり、そして火という賢沢まで、人の住まいに欲しいものをすべてを盛り込むことができました。



本田耕三さん(アークホーム)
私どものホームページを見てご依頼いただき、お話を伺って、富田さんをご紹介しました。施主と建築家が意気投合できたから素晴らしいプランが生まれたのです。富田さんの作品は、緊張もありますが、やりがいと喜びがあります。施主にも全幅のご信頼をいただいたことで、じっくりいい仕事ことができました。

住まいの 情報をいち早く!

コウエイメール会員募集

抽選で当たるお楽しみ
プレゼントもあります!!

土地、中古住宅情報 賃貸住宅情報 新築情報 リフォーム情報

暮らしをトータルにサポートする、コウエイハウジングならではの、
新鮮でお得な情報をいち早くお届けします。ぜひ、ご登録ください。
※当社の情報発信の目的以外には一切使用いたしませんので安心してご登録ください。

<http://www.koeihousing.co.jp/>

☎ ケイタイ電話からも登録可能です。

トータルハウジングに特約します。



株式会社
コウエイハウジング

〒772-0017 徳島県徳島市立原字八枝25番地
お申し込み・お問い合わせ
tel.088-685-3344